

一橋大学大学院経済学研究科

修士課程入学試験 よくある質問(Q&A)

○出願書類

Q1: 出願に先立って、事前に指導を希望する教員と連絡をとる必要はあるでしょうか。

A1: 特に必要ありません。入学後、各教員がゼミへの参加要件を提示するので、指導を受けたい教員の要件を確認してください。要件を満たしたうえで、希望するゼミへ申請し、選考が行われる流れとなります。

Q2: 出願書類の電子データをスマートフォン等のカメラで撮影し、保存した JPG 形式、PNG 形式、HEIC 形式等で提出してもいいですか？

A2: 出願書類は必ず PDF 形式で提出してください。スキャン機能のあるコピー機等を用い、歪みや影の無いカラー画像データ(150dpi 以上)としてください。なお、黒字のみで構成されるページは、白黒画像データで支障ありません。また、「入学志願者研究計画書」は WORD 形式から PDF 形式に変換したものを提出してください。

Q3: 出願書類を英語で作成してもいいですか？

A3: 推薦書は、秋季入試、春季入試とも、日本語、英語ともに受け付けます。様式も両方を用意しております。推薦書の提出ができない事情がある場合は、出願期間より前に、すみやかに経済学研究科へメール(econ-exam.gs[at]ad.hit-u.ac.jp)でご相談ください。

秋季入試では、日本語版の WEB 出願ページを用い、研究計画書も日本語で作成してください。

春季入試では、日本語版・英語版どちらの WEB 出願ページを用いても構いません。募集要項は日本語・英語版の両方を用意します。研究計画書や口述試験参考資料も日本語・英語とも用意がありますので、どちらを使用しても構いません。

Q4: WEB 出願ページの出願情報の入力項目の一つ、「研究テーマに近い順に JEL Classification を3つまで記入」とある「JEL コード」の選び方がわかりません。

A4: 募集要項に記載している「JEL コード」から、「自分が研究を行うにあたって最も関連性のある科目は何か」という観点から該当する分野を、より近い順に3つ選択してください。

Q5: 出願後に住所を変更する予定です。WEB 出願ページには、どのように住所を入力すればいいですか？

A5: WEB 出願ページの住所には、以下の時期に発送する入学手続き書類を受け取ることのできる住所を入力してください。発送までに入力した住所から変更が生じた場合は速やかに経済学研究科へメール(econ-exam.gs[at]ad.hit-u.ac.jp)でお知らせください。

入試種別	合格通知送付時期	入学手続き書類送付時期
修士課程秋季入試	9月下旬頃(メール)	2月下旬頃(郵送)
修士課程春季入試	2月下旬頃(メール)	

Q6: 来年3月卒業見込みですが、在籍している大学では、出願時までには正式な「卒業見込証明書」が発行されません。

A6: 正式な「卒業見込証明書」が発行できないこと、および来年3月に卒業見込みであることを明記した書類を、学科主任の先生や事務室の責任者など、責任のある立場の方に作成してもらってください。

Q7: 他大学の大学院で修士号の学位を取得しました。卒業証明書と成績証明書は学部時代のものと大学院時代のものとの、どちらを提出すればいいですか。

A7: 両方とも提出してください。

Q8: 母国の出身大学では卒業証明書(≠卒業証書(Diploma))の原本を1通しか発行しない制度を取っています。どうすればいいですか？

A8: 出身大学に卒業証明書の原本に代わる証明書(学位を取得した旨の記載があるもの)の発行を依頼してください。証明書については、卒業証明書の原本と形式が異なっても構いません。なお、証明書が日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、日本語または英語の翻訳を必ず添付してください。

大学からの証明書発行が不可能な場合のみ、原本、返却用の封筒・切手および返却希望の旨記載した書面(様式自由)を提出してください。証明書の内容を確認後に原本を返却します。ただし、返却には時間を要しますのでご注意ください。

Q9: 大学卒業後かなりの年数が経っており、出身大学には推薦書を依頼できるような教員がいません。だれに推薦書を依頼すればいいでしょうか。

A9: 会社の上司や学会等で知り合った研究者、大学の教員など、現在の志願者の学力や研究能力をよく知っている人に依頼してください。推薦書の提出ができない事情がある場合は、出願期間より前に、すみやかに経済学研究科へメールでご相談ください。

Q10: 推薦書は所定の様式でなければいけませんか。

A10: 様式は日本語版と英語版を WORD 形式で用意しています。できる限り所定の様式を使ってください。ただし、それが困難な場合には、入学志願者の氏名のほか、推薦者の氏名、所属、肩書き、署名、記入した日付および連絡先(電話番号及び E-mail アドレス)があれば、指定以外の様式も認めます。その場合も、以前に書かれたものではなく、今年度の募集要項発表後に作成されたものを提出してください。

Q11: 推薦書は、メールでなく、郵送での提出ではいけませんか。

A11: 郵便を含む輸送システムが滞っている国・地域が存在し得ることから、推薦者本人からのメールでの送付方法としております。郵送での提出は、基本的に受け付けません。

Q12: 検定料を銀行振込で支払う場合、銀行窓口ではなく、ATM から支払えますか？

A12: 出願書類として提出する必要があるのは明細書の写しです。明細書が発行されるのであれば、ATM と窓口のどちらを利用しても問題ありません。

Q13: 出願書類が届いたか不安です。届いたかどうか確認できますか？

A13: 大学ではお答えできません。発送時の各追跡サービスをご利用ください。

○外部機関による語学試験

Q14: 出願可能な TOEFL®スコア、TOEIC®スコアや各日本語試験(春季入試のみ)の最低点は何点ですか？

A14: 出願要件において、外部試験の最低点は設定しておりません。

Q15: TOEFL®スコアが ETS から大学に届いているか不安です。確認できますか？

A15: TOEFL®スコアの到着状況について、大学ではお答えできません。なお、一橋大学へ送付する手続きが出願期間最終日の 10 日前までに完了していれば、スコアレポートが大学に到着していなくても支障ありません。ETS ウェブサイトより、スコア情報を確認いたします。

Q16: 過去に経済学研究科宛てに TOEFL®スコアを提出済みです。受験に当たって再度提出する必要はありますか？

A16: TOEFL®の成績証明書については以下2点の手続きが必要です。

(1)ETS から直接、経済学研究科にスコアを送付する手続き(前 A 参照)

(2)ETS から志願者本人に送付された成績証明書のコピー、または ETS ウェブサ

イトのマイページから印刷した成績証明書の提出

まず、(1)につきましては有効期限(各募集要項参照)内のスコアが既に経済学研究科に届いている、または送付する手続きが出願最終日の 10 日前までに完了している場合は、再度提出していただく必要はございません。

ただし、(2)につきましては出願書類に同封するようにしてください。

なお、スコアの有効期限につきましては、各入試の募集要項でご確認ください。

○試験全般

Q17: 出題の傾向について教えてください。

A17:口述試験の内容に関する質問にはお答えできません。過去に実施していた筆記試験の過去問題は以下のウェブページに掲載されています。

https://www.econ.hit-u.ac.jp/jpn/page/examinee/graduate_admissions/past_exam.html

Q18: 8～9月の秋季入試と1～2月の春季入試の両方に出願することはできますか？

A18: それぞれの入試の出願資格を満たしていれば、両方の入試に出願することは可能です。出願資格については各募集要項を参照してください。

Q19: 試験の結果はウェブサイトで見られますか？

A19: 基本的に、合格発表から翌日17時まで、合格者の受験番号を経済学研究科ウェブサイト上に掲載する予定です。

Q20: 入試の不合格者を、研究生として受け入れる制度はありますか。

A20: ありません。

Q21: 口述試験は英語で回答できますか？

A21: 秋季入試の口述試験は日本語で行います。

春季入試の口述試験では、出願書類に「英語での口述試験実施を希望する」と書いた受験生については希望を考慮します。ただし、審査員の判断によっては、口述試験の一部を日本語で行う場合もあります。

Q22: 入学後、英語のみで修士学位が取得できますか？

A22: 英語のみでの修士学位取得はできません。英語で行われる授業科目もありますが、大半の授業科目は日本語で行われます。

Q23: 他大学出身者でも合格の可能性はありますか。

A23: 例年、合格者の多くが他大学の出身者です。

Q24: 大学院入試のパンフレットはありますか。

A24: パンフレットは作成していません。必要な情報はすべて経済学研究科ウェブサイトに記載されています。

Q25: 専修コースで出願しましたが、研究者養成コースに変更できますか？

A25: 出願後のコースの変更は認められません。専門職業人養成プログラムは専修コースのみ参加が可能ですので、ご注意ください。

研究者養成コースおよび専修コースのいずれに所属した場合でも、博士後期課程への進学要件を満たせば、博士後期課程への進学は可能です。博士後期課程への進学要件は、両コースとも同じです。